シチズンシップ共育企画

2008 年度事業概要報告

シチズンシップ
共育企画
Planning Office for Citizenship Co-Learning
「じぶん」になる、「しみん」になる。

〒661-0965　兵庫県尼崎市次屋 1-2-20 ハイツアメニティ 2-203
Tel 070-6506-0369　E-mail kwnk@nifty.com　URL http://homepage2.nifty.com/citizenship/

シチズンシップ共育企画 ミッション

「じぶん」になる、「しみん」になる。
アクティブな市民になれるために。民主的な対話を実感／実現するために。
市民的リテラシーを獲得した民主主義の担い手が育つ社会の実現のために。

シチズンシップ共育企画は、「市民としての意識と行動力」が向上するための学びの場をつくる NPO です。特に、市民が社会参画していく技能の内、「コミュニケーション力」「協議力（合意形成力）」「マネジメント力」「社会問題発見力」の４つの市民力と、社会参画を支援する力（教育ファシリテーション力）を中心テーマに据えて、講座・ワークショップを実施しています。

任意団体であるシチズンシップ共育企画は、代表者である川中大輔の個人事業として、昨年末に 2008 年度の会計年度末を迎えました。ここに概要をご報告いたします。

1．08 年度事業報告のハイライト

(1)ユース ACT プログラム、京都地域で開始！
(2)生と死の共育ワークショップ、拡充
(3)教育ファシリテーター講座、3 年目で中級編を新設
(4)学校と NPO の教育協働を進める ERC、新規開設
(5)NPO マネジメント関連講座の受講者約 1650 名！
(6)ユースナレッジマーケット、合同研修型へ
(7)神戸市協働と参画のプラットホームの協働コーディネート業務、継続受託

2．08 年度事業実施体制

当会では、規約に基づき、意思決定機関として運営委員会を設置し、原則毎月１回の定例会議と、原則年 2 回（1 月・6 月）のリトリートの合宿会議を開催しています。運営委員会では、組織全体のビジョンや各種方針の策定、事業計画の策定や事業報告の承認等を行う他、各種事業の進捗状況共有、新規企画の実施承認等を行っています。今年度は、11 回の定例会議を開催いたしました。

執行体制としては、事務局長のもと、主要事業についてはその責任者として事業コーディネーターを置き、プロジェクトチーム形式で事業推進に取り組んでいます。また、今年度より総務事務を担う非常勤職員を 1 名採用し、事務局体制も強化しました。

〈メンバー一覧〉

・運営委員会　川中大輔（代表・事務局長）、大本晋也、小林健司、東末真紀、三浦一郎
・監事　長尾文雄
・ファシリテーター　川中大輔、三浦一郎
・インターン　寺尾恭輔（～3 月）

・事業コーディネーター　濱門正樹（～3 月）、松村幸裕子、南大樹、宮岸洋輔、神野有希
・事務局スタッフ　　波部義広
・ボランティア　　佐川育恵、矢野百合子、井出大地、城木信浩、多田菜津実、山本亜沙美
木村智子、道本裕介

3．08 年度各事業報告

■市民教育事業（担当役員：小林）

(1)高校生 NPO インターンシッププログラム（担当：神野、多田、山本、道本、濱門）

当会では、昨年から阪神間の高校生を対象とした長期実践型 NPO インターンシッププログラムを実施しています。高校生のボランティア学習としては、量的な充実が進んでいますが、短期間・限定的な関わりをする体験型のプログラムが中心になっており、質的充実には課題が残っています。

そこで、当会は、高校生が社会の中で一定の責任を負い、その責任を果たす中で社会における自分の存在意義や自己効力感を見いだし、自分の生き方と社会への関わりを結びつけられるような長期実践型のプログラムが教育機会として必要であるとの認識に立っています。

昨年度の「高校生 NPO インターンシップここからスタートプログラム（ここスタ）」では、進路が決定した高校 3 年生を対象とし、進路選択に留まらないライフデザインに焦点をあてましたが、今年度は進路選択時に「社会との関わり」を踏まえた決定を促進するため、高校 1~2 年生を対象に変更した上で、県内高校への広報協力を依頼し、参加者を募集しました。しかし、今年度は参加者を確保することができず、本事業は不実施となりました。

そこで、本事業に興味関心をお示しいただいた高校へのヒアリングを再度実施し、高校 1～2 年生を対象とするプログラムに関するニーズを把握した上で、新規企画を立案することとなりました。新規企画においては、高校生が NPO インターンシップのような負荷の高いプログラムへの参加意志を形成していくための段階的なプログラムをパッケージ化することとし、その名称としては「STEP（Social Try, Encounter and Empowerment Project）」と決まりました。

09 年度は、パッケージプログラムの具体的なデザインを進めつつ、幾つかの高校との意見交換／情報交換を密に取りながら、実現可能性を高めていくことといたします。

(2)ユース ACT プログラム（担当：松村、川中、井出、城木、木村、矢野）

今年度から新たな試みとして、京都地域において、高校生がまちづくり企画の立案・実施・評価に一貫して取り組む市民教育プログラムを開発・実施しました。若者が「まちの跡取り」としての自覚や自信を形成するためには、自らが「まち」をつくる側にまわる経験をしつつ、「まち」の多様な人びととの交わりを得て支えられる中で、「まち」への愛着と信頼を育んでいくプロセスが求められると考え、「ユース ACT（Active Citizenship Training）プログラム」をスタートさせました。

本事業の実施にあたっては、京都地域でユースワークや市民活動支援等に取り組む 6 機関［ (特)きょうと NPO センター、(特)ユースビジョン、シチズンシップ共育企画、(財)京都市ユースサービス

協会、京都市福祉ボランティアセンター、同志社大学大学院総合政策科学研究科］によって実行委員会を形成し、様々な地域資源と高校生を仲介できる体制を整えました。当会は実行委員会の事務局を担い、本事業の具体化に向けた諸活動に取組みました　本事業の具体的な内容としては、大学生サポーターの助けを受けながら、8 月に高校生が自らの「まち」への問題意識をもとにまちづくり企画の立案を行い、翌年 1 月までに立案した企画を実施し、2 月にその評価・報告を行うこととなります。今年度の参加者は市内の高校生 3 名であり、現在 2 つの企画チームに分かれて活動中です。

なお、この枠組みは過年度に当会が企画協力した、大分県教育庁主催「おおいたティーンエイジリーダー育成事業」やプロジェクト未来なは主催「僕らのアクションプログラム」と似たものとなっており、現在も企画実施されている那覇の高校生との地域間交流も進めていきたいと考えています。

09 年度は、高校生の活動を支援する協力者・協力機関を増やしていくなど、発展的に継続実施していきます。詳細については、ウェブページでご紹介しています。

＊本事業は、京都市・京都市教育委員会・京都府教育委員会・(財)大学コンソーシアム京都から後援いただき、京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金の助成を受けています。

▷専用ブログ：http://actkyoto.jimdo.com/

■共育ワークショップ事業（担当役員：川中）

(1)生と死の共育ワークショップ（担当：川中、波部、東末）

シチズンシップ共育企画では、個々人が自らの人生の意味や目的を見いだす精神的な成長（spiritual grow）を各人の「市民としての行動」に軸をもたらすものとして、重視しています。しかし、昨今の教育現場では、職業観の形成を主眼とするキャリア教育が中心であり、「生きる意味」と向き合うプログラムは決して十分とは言えません。

そこで、当会では昨年度より青木将幸ファシリテーター事務所、大蓮寺・應典院の協力を得ながら、「生と死の共育ワークショップ」プログラムの開発・実施をスタートさせました。今年度はその第 2 回目として、前年日帰りであったプログラムを 1 泊 2 日に拡充し、12 月 6 日から 7 日にかけて、「自分の葬式はどうあげられたいか？」（ゲスト：秋田光彦さん、青木将幸さん、幡中光輔さん）を実施（協賛：株式会社阿波屋）。参加者 12 名（申込者 15 名）を得ました。

本事業は 09 年度以降も継続実施し、「生と死の共育ワークショップ」のプログラムのストックの形成を図ります。

▷開催告知：http://homepage2.nifty.com/citizenship/de08.htm

▷実施報告：http://homepage2.nifty.com/citizenship/kiroku.htm

■ファシリテーター養成事業（担当役員：東末）

(1)教育ファシリテーター講座（担当：川中、大本、宮岸）

学校や社会教育施設等において、オルタナティブ教育を中心に開発されてきた参加型学習やファシリテーションの技法が新たな学びあり方として注目され、その実施展開が本格化されていっています。

また、総合的な学習の時間の導入や地学連携が進む中、NPO スタッフが学校等の教育現場において参加型学習を実施する場面も増加しています。

参加型学習の場において、学び手は「参加型の文化」を体得することになり、また、自分の頭で考え、活動と学習を統合していくスキルを習得することになります。そこで、当会では、2006 年度より「教育ファシリテーター講座」を実施し、適切なファシリテーションの技法を習得できる機会を提供しています。今年度は、過年度の開催結果を踏まえ、基礎編と中級編の 2 コースでの実施とし、階層化を進めました。基礎編は 8 月 5 日から 6 日にかけて「ファシリテーションを形づくる」をテーマに実施され、参加者 16 名を得ました。中級編は新規開設のコースで、8 月 7 日から 8 日にかけて「ファシリテーションの質をあげる」のテーマのもと、実習に力点を置いたプログラムが実施され、参加者 12 名を得ました。

近年、多くの団体が様々なファシリテーション研修を実施しており、シチズンシップ共育企画として、どのようなファシリテーション研修に取り組み、どのような研修の必要性を社会に提起していくべきかを検討していく必要が出ています。09 年度は、そうした検討を踏まえ、階層化を一層進展させ、基礎・中級・上級の 3 コースでの開催を企画します。

▷開催告知：http://homepage2.nifty.com/citizenship/edufacil08.htm

(2)学びのデザイン研究会（担当：川中、東末、松村）

関西地域のファシリテーターのネットワーキング化と、形式知化される前の現場レベルでの実践知を共有する場として、当会では 2006 年度より「学びのデザイン研究会」を不定期で開催しています。今年度は 4 回の研究会を実施しました。

・第 17 回「デート DV をどう教えるか？」（ゲスト：齋藤真緒さん／立命館大学産業社会学部）（7 月 28 日）（参加者 6 名）
・第 18 回「フリースクールの現場に学ぶ子ども一人ひとりの学びの場づくり」（10 月 6 日）（ゲスト：小野洋さん／スロースペース ラミ）（参加者 6 名）
・第 19 回「『教育ファシリテーター講座』を参加者が解体する」（11 月 7 日）（ゲスト：鈴木陵さん／CLUB GEORDIE）（参加者 8 名）
・第 20 回「NPO・地域・中学校の教育協働による授業実践」（12 月 2 日）（ゲスト：佐々倉玲於さん／まちなか研究所わくわく）（参加者 21 名）

▷開催記録：http://homepage2.nifty.com/citizenship/study.htm

■教育機関支援事業（担当役員：大本）

(1)大学講義における講師（担当：川中）

大学等の高等教育機関において、シチズンシップ教育の視点を踏まえた授業を展開するため、以下の大学・高専において非常勤講師として講義科目を担当しました。

・大阪樟蔭女子大学学芸学部「教育社会学」（履修者：春学期 73 名／秋学期 40 名）

・岐阜県立森林文化アカデミー「NPO 概論」（履修者：9 名）
・甲南女子大学多文化コミュニケーション学科「ボランティア入門」（履修者：36 名）
・甲南女子大学多文化コミュニケーション学科「組織マネージメント入門」（履修者：65 名）

(2)講師派遣プログラム（担当：川中、三浦、小林）

教育機関の支援活動として、各種教育機関が行うシチズンシップ教育に関係する学習プログラムやマネジメント研修等への講師派遣を行っています。今年度は、以下の研修へ講師を派遣しました。

・1/11　立命館大学産業社会学部「ユースサービス概論」コメンテーター（8 名）
・1/18　立命館大学産業社会学部「ユースサービス概論」コメンテーター（8 名）
・4/12　同志社大学大学院総合政策科学研究科ソーシャルイノベーション研究コース「地域インターンシップ」「地域インターンシップ概論」（20 名）
・4/18　立命館大学産業社会学部「ユースサービス概論」「現代の若者の課題を考える」（11 名）
・5/31　静岡市生涯学習施設職員研修「まちづくりの担い手を見つけ、つなぎ、支える視点から生涯学習施設の事業を見直す研修会」講師（18 名）
・6/6　立命館大学産業社会学部「ユースサービス概論」「政治参加／社会参加とユースワーク」ゲスト講師（15 名）
・6/11　龍谷大学社会学部「ボランティア活動論」「ボランティア活動とシティズンシップ教育」ゲスト講師（19 名）
・6/27　立命館大学産業社会学部「ユースサービス概論」「企画のつくりかた」ゲスト（11 名）
・7/10　愛媛大学リーダーズスクール（ELS）のコンサルティングおよび ELS ゼミ「ガバナンスとリーダーシップ」講師（27 名）
・7/16　パドマ幼稚園蓮塾職員研修「野外教育研修（安全管理）（三浦）」（約 30 名）
・7/25　総合幼児教育研究大会分科会「主任研修」（約 50 名）「後継者研修（小林）」（約 25 名）
・8/25　パドマ幼稚園平成 20 年度夏期合宿研修「親と園のグッドコミュニケーション」ファシリテーター（35 名）
・11/8　パドマ幼稚園職員研修「園と保護者のコミュニケーション」（30 名）

(3)ERC（教育リソースセンター）（担当：南、三浦）

今年度からの新たな試みとして、NPO 等の地域の教育資源と高等学校との「教育協働」を促進するため、ERC（教育リソースセンター）の設置準備に取り組みました。地域の教育資源と学校との協働の実態およびその促進を阻害している要因が何であるのかを明らかとすべく、外部の有識者等を交えた研究会を設置しました。研究会においては、協働推進のための方策を具体化するにあたり、事例検討やヒアリングが行われましたが、県内の全ての高等学校に対するアンケート調査の必要性が指摘され、調査を実施することにいたしました。

09 年度は、同アンケートの集計および分析を進め、ERC の具体的な活動内容を明確化させ、同セ

ンターの開設に向けての準備を進めます。

(4)外部委員（担当：川中）

教育機関の支援活動として、研修・講座のみならず、以下の機関の外部委員として、テーマに基づく助言指導やプログラム開発、調査研究補助等を担いました。

・(財)京都市ユースサービス協会企画委員

▷テーマ「ユースサービス事業における連携・協働・ネットワーク」

・総合幼児教育研究会外部ブレーン（～3 月まで）

▷テーマ「次世代研修および主任者研修のプログラムデザイン」

・(財)大学コンソーシアム京都 京都高等教育研究センター

「連携型教育研究プロジェクト」研究員（～3 月まで）

▷テーマ「新しい教養教育の創造（特色 GP 採択事業）」

〈刊行物〉

・「大学連携による新しい教養教育の創造」研究プロジェクト編『平成 16 年文部科学省特色ある教育支援プログラム採択「大学連携による新しい教養教育の創造～京都地域における単位互換制度～」研究成果報告書』、同志社大学ほか

・連携型教育システム研究プロジェクト編「連携型教育システムの高度化に関する研究」、京都高等教育研究センター『2007 年度プロジェクト研究報告書』、大学コンソーシアム京都、pp.139-196

・(財)大学コンソーシアム京都リエゾン・アドバイザー（4 月以降、リエゾン・オフィス・アドバイザーより改称）

▷会報誌における特集座談会の進行および編集、学生交流事業における助言

〈刊行物〉『UNIVERSITY CONSORTIUM Kyoto』第 30 号-第 31 号

「学びの座談会－「学び」と世代の間にあるものとは（社会人編・シニア編）」

・(独)国立青少年教育振興機構国立中央青少年交流の家施設業務委員会委員（～3 月まで）

・(特活)BrainHumanity リージョナル・パートナー（～3 月まで）フェロー（4 月～）

▷「小中学生を対象とした通年型冒険教育プログラムにおける青年リーダーへの効果検証」（文部科学省委託調査研究）研究会への参画

■NPO 支援事業（担当：川中）

(1)講師派遣プログラム（担当：川中、小林）

「市民としての行動力」が社会において具体的に発揮されるためには、思いをカタチにしていくマネジメントスキルが必要不可欠となります。そこで、当会代表の川中は当会設立以前の 2001 年より NPO マネジメント講座の講師依頼を積極的に引き受け、当会が設立された 2003 年度以降、全国各地で毎年 50 件程度の講座を担当しています

今年度は、一年間で 67 件（参加者計約 1395 名）の講座へ講師派遣を行いました。下表はご依頼

いただいた 67 件に、教育機関向けに講師を派遣した 13 件（参加者計約 257 名）の研修・講座も加えて、テーマ別で分類したものです。

テーマ	件数(08←07←06 年度)	テーマ	件数(08←07←06 年度)
市民組織運営の基礎	3（←4←2）	会議・ファシリテーション	10（←8←7）
企画	9（←8←6）	広報	4（←3←7）
ボランティアマネジメント	4（←2←8）	リーダーシップ・人材育成	5（←5←5）
評価	3（←2←8）	中長期戦略・ビジョン	6（←0←0）
NPO 支援の基礎	2（←1←0）	協働	15（←4←1）
市民教育	4（←0←0）	まちづくり	2（←3←0）
ライフデザイン	2（←1←1）	その他	3（←0←0）

過年度より当会に依頼の多い「企画」や「会議・ファシリテーション」については、今年度も堅調に一定の依頼数があり、ほぼ同様の規模でニーズが存在し続けていることが分かります。今年度、特徴的であったこととして、いずれのテーマいついても言えますが、まだまだ量的に多くはないものの、地域団体関係者の自発的参加者が増加傾向を示しており、地域団体の活性化にかかるニーズが高まり出していることが指摘できます。

今年度の大きな傾向としては「協働」が急増していることが分かります。「協働」については、神戸市からの協働と参画のプラットホームにかかる受託業務実績から、NPO と行政のそれぞれへの理解度の高さを見込まれた結果と考えられ、行政職員研修のみならず、具体的な協働の協議の場におけるファシリテーションの依頼も多くありました。なお、既に「理念の啓発」から、身近な実践事例に基づく成功／失敗の要因を明らかとし、具体的に何をどう進めていくのか、実際に困っている問題をどう解消するかという実践的なニーズに重心は移っており、この傾向はしばらく続くものと思われます。

また、「中長期戦略・ビジョン」についても増加していることが分かります。特定非営利活動促進法が制定されて 10 年を経て、個々の NPO の活動も本格的に展開されていく中、日常の近視眼的な視点を離れて、「次の動き」を構想していくニーズが高まっていると予測できます。

09 年度は、従来からの講座プログラムの充実化に加え、近年の増加ニーズに適切に応えられるよう、プログラムの開発を図り、依頼件数の増加を目指します。

・1/25　総合幼児教育研究会「次世代対象セミナー（北関東支部）」、「わが園のビジョンをつくるワークショップ」講師（10 名）
・1/27　京都市市民活動総合センター「NPO マネジメント講座－ケーススタディ編－」、「組織づくりは会議から！発言が活発になる会議術」講師（14 名）
・2/3　ひょうごボランタリープラザ「団塊世代の地域づくり活動支援フォーラム」ファシリテーター（38 名）
・2/5　千葉県「千葉県 NPO 事業力向上セミナー（人育て・団体育てセミナー）」、「人が集まる！企画のつくりかた」（柏会場）講師（21 名）

・2/7　千葉県「千葉県 NPO 事業力向上セミナー（人育て・団体育てセミナー）」、「人が集まる！企画のつくりかた」（千葉会場）講師（18 名）
・2/8　東京都北区 NPO・ボランティアぷらざ「ボランティアマネジメント講座」、「ボランティアがやめない組織づくり」講師（8 名）
・2/9　総合幼児教育研究会「次世代対象セミナー（関東支部）」、「総幼研理念を表現するワークショップ」講師（6 名）
・2/10　三田市社会福祉協議会「第 2 回地域福祉活動者リーダー研修会」、「地域福祉活動者のステプアップに必要なもの」講師（36 名）
・2/17　淡海ネットワークセンター「市民活動・NPO のスキルアップ講座」、「企画力を高める！（話題になる企画のつくり方）」（29 名）
・2/23　総合幼児教育研究会「次世代対象セミナー（九州支部）」、「総幼研理念を表現するワークショップ」（4 名）
・2/28　こうべ NPO データマップ運営委員会「こうべ NPO データマップの活性化を考えるワークショップ」（11 名）
・3/1　日本ボランティアコーディネーター協会「全国ボランティアコーディネーター研究集会」、「『きたい』と『したい』を結びたい！」ファシリテーター（15 名）
・3/2　日本ボランティアコーディネーター協会「全国ボランティアコーディネーター研究集会」、「ボランティアの『やる気』を刺激するワザを分かち合おう」ファシリテーター（15 名）
・3/4　千葉県「千葉県 NPO 事業力向上セミナー（人育て・団体育てセミナー）」、「人が集まる！企画のつくりかた」（市川会場）（15 名）
・3/8　アルヴェ市民活動センター「アルヴェ市民活動支援連続講座」「組織をうまく運営する基礎知識」（19 名）
・3/9　アルヴェ市民活動センター「アルヴェ市民活動支援連続講座」「助成金をとれる！プレゼンのしかた」（21 名）
・3/10　市民メディアフォーラム「若者のまちづくり参加をどう促すか」講師（15 名）
・3/11　篠山市男女共同参画センター「ファシリテーション入門セミナー」（19 名）
・3/15　パドマ幼稚園「リーダー研修」「組織マネジメントの基礎力をつける」講師（9 名）
・3/17-18　筑波大学人材育成研究会「目指せ！ワークショップデザイナー」講師（8 名）
・3/22　京都学生祭典実行委員会研修会「チームを育てるチカラをつける！」（14 名）
・3/27　ドーンセンター「学校教員のためのワークショップ」「男女共同参画の視点による教材づくり」（23 名）
・3/29-30　愛隣館職員研修（24 名）
・4/29　那覇市 NPO 活動支援センタースタッフ研修「NPO 支援の基礎」（7 名）
・5/21　全国女性会館協議会地域ブロック研修［関西ブロック］「女性関連施設ネットワークセミナー～地域における拠点施設としての男女共同参画センター～」「私と女性センター」リ

レートーク・スピーカー（74 名）

・6/1　静岡市生涯学習推進課「NPO 事業力向上セミナー」「人が集まる！企画のつくり方」講師（20 名）

・6/9　堺市市民活動のあり方検討委員会発起人会ファシリテーター（10 名）

・6/16　ちば市民活動・市民事業サポートクラブ「NPO 応援講座」「NPO の『広報力』パワーアップ講座～伝えるためにココを変える！～」（23 名）

・6/21-22　桃山学院大学「ボランティアビューロー研修会」（13 名）

・7/3　京都府「公共人財養成事業～ふるさと京都、夢・知恵・元気わくわく塾」スキルアップコー講座「ファシリテーター能力養成コース」「第 1 講：体験してみる」講師（24 名）

・7/7　堺市市民活動のあり方検討会第 2 回発起人会（10 名）

・7/12-13　宝塚 NPO センター「新しい時代の協働：NPO と行政と企業のための 1 泊研修会」ファシリテーター（25 名）

・7/15　コープこうべ「活動センターチーフ研修」「チーフ業務の困りごとをどう解決するか？」（9 名）

・7/18　京都市男女共同参画センター「職員研修」「事業調査係のこれからをデザインする」（6 名）

・7/31　京都府「公共人財養成事業～ふるさと京都、夢・知恵・元気わくわく塾」スキルアップコー講座「ファシリテーター能力養成コース」「第 2 講：やってみる」講師（24 名）

・8/18　三田市社会福祉協議会「ふれあい活動推進協議会・地域福祉活動者リーダー研修会」「効果のあがる活動の秘訣」講師（約 50 名）

・8/26　コープこうべ「組合員活動支援基礎研修」「活動支援の視点をつくろう」講師（30 名）

・9/3　神戸市役所「まちづくり関連職員研修ケーススタディプログラム」「実践から学ぶ協働と参画のすすめかた」ファシリテーター（19 名）

・9/4　京都府「公共人財養成事業～ふるさと京都、夢・知恵・元気わくわく塾」スキルアップコー講座「ファシリテーター能力養成コース」「第 3 講：考えてみる」講師（24 名）

・9/5　神戸市役所「まちづくり関連職員研修ケーススタディプログラム」「実践から学ぶ協働と参画のすすめかた」ファシリテーター（17 名）

・9/6-7　コミュニティ・ユース・バンク momo「momo トレ～持続可能な地域づくりへの第一歩」、「地域を動かす企画力をつけよう」講師（13 名）

・9/12　パルシステム東京「第 1 回役員研修」「第 7 期理事会のスローガンをつくろう」ファシリテーター（32 名）

・9/18　川西市役所「協働のまちづくりワークショップ」「第 1 回：協働のまちづくりとは？」ファシリテーター（30 名）

・9/19　ユースビジョン「大学ボランティアセンター学生スタッフセミナー2008」「分科会 3：みんなで作ろう！ボラセンの輪」ファシリテーター（6 名）

・9/20　兵庫県保健栄養士協議会「ファシリテーター養成研修」「効果的・効率的な会議の企画」講師（30 名）
・10/1　川西市役所「協働のまちづくりワークショップ」「第 2 回：まちづくりの担い手とは？」ファシリテーター（30 名）
・10/2　京都府「公共人財養成事業～ふるさと京都、夢・知恵・元気わくわく塾」スキルアップコー講座「ファシリテーター能力養成コース」「第 1 講：体験してみる」講師（15 名）
・10/5　ネットワーク太子の風「私が太子町に貢献できること」ファシリテーター（32 名）
・10/6　宝塚市役所・宝塚 NPO センター「行政と NPO の協働をすすめるセミナー」、第２回「協働のネックを整理する」講師（18 名）
・10/11-12　U30 プロジェクト「ユースファシリテーターズ・ダイアログ」ゲスト（28 名）
・10/15　川西市役所「協働のまちづくりワークショップ」「第 3 回：川西のまちづくりの課題を整理する」ファシリテーター（30 名）
・10/17　国立大雪青少年交流の家・国立日高青少年自然の家「ボランティア・セミナー in 北海道（応用編）」、「指導者研修：ファシリテーションという支援手法」（6 名）
・10/17-19　国立大雪青少年交流の家・国立日高青少年自然の家「ボランティア・セミナー in 北海道（応用編）」、「実践者研修：芯のあるボランティア活動をつくる」（25 名）
・10/29　川西市役所「協働のまちづくりワークショップ」「第 4 回：まちづくりの課題の解決策を検討する」ファシリテーター（30 名）
・11/1-2　アルヴェ市民活動センター「人が集まる企画のつくりかた」講師（18 名）
・11/6　京都府「公共人財養成事業～ふるさと京都、夢・知恵・元気わくわく塾」スキルアップコー講座「ファシリテーター能力養成コース」「第 2 講：やってみる」講師（13 名）
・11/12　川西市役所「協働のまちづくりワークショップ」「第 5 回：まちづくりの課題の解決策を検討する」ファシリテーター（30 名）
・11/16　CS 神戸・NPO 事業サポートセンター・チャリティプラットホーム「NPO 塾」、「NPO の次世代へのバトンをどう設計する？」ファシリテーター（25 名）
・11/23-24　公益・非営利支援センター東京「社会の動かし方・業界の育て方を考える合宿～ソーシャル・ディープ・インパクトの与えかた」スタッフ（30 名）
・11/26　川西市役所「協働のまちづくりワークショップ」「第 6 回：『まちづくりの課題の解決策を検討する』から考える」ファシリテーター（30 名）
・11/29　市民事務局かわにし「わがまち再発見！景観ワークショップ」「第２回ワークショップ」ファシリテーター（24 名）
・11/30　ひょうごボランタリースクエア 21 実行委員会「ひょうごボランタリースクエア」「ひょうごボランティア・市民活動フォーラム」コーディネーター（73 名）
・12/4　京都府「公共人財養成事業～ふるさと京都、夢・知恵・元気わくわく塾」スキルアップコー講座「ファシリテーター能力養成コース」「第 3 講：考えてみる」講師（9 名）

・12/10　川西市役所「協働のまちづくりワークショップ」「第 7 回：『まちづくりの課題の解決策を検討する』から考える」ファシリテーター（30 名）
・12/11　コープこうべ「活動サポートセンター・コープカルチャー合同チーフ研修」、「スタッフとのコミュニケーションをうまくとるには？」講師（18 名）
・12/15　宝塚市役所「行政と NPO の協働を考えるセミナー」第 3 回講師（15 名）
・12/21　日本歯科衛生士会九州ブロック連絡協議会「リーダー研修会」「会員が増えるコツを学び合う」講師（38 名）

▷報告リポート：http://homepage2.nifty.com/citizenship/kiroku.htm

(2)ユースナレッジマーケット（担当：川中）

市民公益活動に取り組む学生団体は、年々増加傾向にあり、各大学の支援体制も充実傾向にあります。しかし、メンバーの入れ替わりの激しい学生団体においては、マネジメントの発展が難しく、一定水準の活動に終始する傾向が見られます。そこで、当会では「若者のチカラを社会のチカラに」をスローガンに、2006 年度より学生団体のマネジメント支援の取組みとして、学生団体に対象を限定した研修会「ユースナレッジマーケット」を実施しています。

昨年度に開催方式を集合研修型から合同研修型へ転換させることを決定していましたが、今年度はその具体化の初年度にあたりました。今年度の本プログラムには、CLUB GEORDIE、Reuniv、関西学院ヒューマンサービスセンターの 3 団体が参加し、年間を通して 5 回の研修を実施しました。研修テーマの検討にあたっては、各参加団体の役員と一緒に行い、事務局も持ち回り制として、協働での事業実施に努めました。

09 年度は、参加学生団体のニーズを踏まえながら、合同研修型による開催を継続し、参加団体の拡充を図ります。

・#3 プレ研修「企画のつくりかた（Reuniv 対象）」（2 月 14 日）（参加者 11 名）
・#3「2008 年度の新しい企画をつくろう」（2 月 25 日～26 日）（参加者 48 名）
・#4「合同新人研修～思いをカタチにするチームになろう」（6 月 28 日～29 日）（参加者約 50 名）
・#5「次につながるアンケートをつくる！」（8 月 9 日）（30 名）
・#6「幹部合宿～『課題』と『疲れ』、一斉たな卸し」（8 月 13 日～14 日）（17 名）
・#7「年間計画をふり返る」（12 月 26 日）（参加者：65 名）

▷報告リポート：http://homepage2.nifty.com/citizenship/kiroku.htm

(3)受託事業（担当：川中、三浦、南）

昨年度に引き続き、神戸市市民参画推進局から「協働と参画のプラットホーム」における「NPO との協働に関する研究・調査業務および協働コーディネート業務」を受託し、市民参画のまちづくりの推進に取り組みました。

具体的には、市民提案型協働事業助成であるパートナーシップ活動助成の評価検証業務および付随

する調査研究、NPO や地域団体と神戸市の協働コーディネート業務（相談対応等）、庁内向けの意識啓発業務等を行いました。今年度の特筆事項としては、全市的な地域団体と NPO の協働の推進に向けて、10 月 25 日に「神戸市民円卓会議拡大会議」が「地域がやばいぞ！どうする神戸～見えない境を乗り越える～」というテーマのもと開催され、地域団体の役員・役員経験者や NPO スタッフ、行政職員等 95 名の参加者を得ました。この拡大会議は、09 年度以降に取組みを検討している、小中学校区単位の地域円卓会議の実施に向けた弾みとなるものでした。

協働と参画のプラットホームの協働コーディネート業務については、09年度も継続的に受託できるように努め、NPO と行政の協働、地域団体とNPO の協働について、相互理解の促進と、適切な協働／深い協働の進展に取り組んでいくことを目指し、市民参画のまちづくりの進展に貢献します。

また、神戸市産業振興局から昨年度に受託していた、「6 人の鉄人に学ぶ！コミュニティ・ビジネス起業講座」について、1 月 12 日～13 日にかけて第 2 回「起業プランをつくってみよう」（参加者 4 名／申込 9 名）、1 月 25 日に第 3 回「起業プランを発表して、先輩からアドバイスをもらおう！」（参加者 3 名／申込 9 名）を実施し、終了しました。

▷産業振興局受託講座開催告知：http://homepage2.nifty.com/citizenship/kobecb07.pdf

(4)外部委員（担当：川中）

NPO の支援活動として、研修・講座のみならず、以下の機関の外部委員として助言指導や審査等を行いました。

・(特活)まちなか研究所わくわく理事（社外役員）
　▷理事会合宿の進行、組織運営および各種企画立案への助言
・尼崎市「きょう Do 検証会議」委員
　▷同市と市民との協働事業の協働プロセスに関する第三者検証
・兵庫県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター機能強化指標検討委員
　▷市町社協のボランティア・市民活動センターの機能強化の方向性の検討および評価様式検討
・ドーンセンター事業公募選考委員会委員（～3 月）
　▷同センターと NPO との協働公募事業の審査
・葛飾区「市民活動（NPO）との協働事業提案制度」審査会委員
　▷同区と NPO との協働公募事業の審査
・edge アソシエイト

(5)原稿執筆（担当：川中）

NPO 支援や活動紹介に関する原稿を情報誌等で執筆しています。今年度に執筆・掲載されたものは以下の通りです。

〈定期連載執筆〉

◎『NPO マネジメント』(IIHOE 刊行)、「誌上マネジメント相談」コーナー

・振り返り合宿（リトリート）を生かすためには？」(誌上マネジメント相談)、『NPO マネジメント』第 53 号、pp.17-19

・「理事の留任をお願いしたが、断られてしまった…」(誌上マネジメント相談)、『NPO マネジメント』第 55 号、pp.19-21

・「団体の中堅層が伸び悩んでいます…」(誌上マネジメント相談)、『NPO マネジメント』57 号、pp.17-19

◎『種まき』(A SEED JAPAN 刊行)、「すけさんの一期一会」

・第 1 回「市民になる学びをつくる人」、『種まき』109 号、p.14

・第 2 回「シニア・シルバー世代の豊かな暮らしをつくる人」、『種まき』110 号、p14

・第 3 回「地域の中で人と関わって生きていく人」、『種まき』111 号、p.14

・第 4 回「将来について考えることを楽しくする人」、『種まき』112 号、p.14

・第 5 回「お互いを尊重する恋愛関係をつくる人」、『種まき』113 号、p.14

〈その他〉

◎寄稿

・川中大輔「若者が企画づくりを学び、実践するプロセスをもつ『僕らのアクションプログラム』の意義・価値」、『プロジェクト未来なは 2007 年度事業報告書』、プロジェクト未来なは、p.22

◎座談会、ラウンドテーブル

・深尾昌峰、山崎仁士、新川達郎、木原勝彬、川中大輔、鈴木暁子、芝原浩美、山口洋典「市民と行政のパートナーシップの展開－NPO と自治体の人材育成」(ディスカッション・テーブル)、『「地域社会における公共的人材育成システムの構築とその社会的認証」コンファレンス／ディスカッション・テーブル報告書』龍谷大学地域人材・公共政策開発システムオープン・リサーチ・センター、pp.149-178

・小倉譲、柏尾政和、中村順子、野崎隆一、永井秀憲、川中大輔「NPO と地域団体の協働をめざして」(座談会)、『月刊 KOBE グー』No.163、神港ジャーナル社、pp.2-5

◎インタビュー

・大阪ボランティア協会『volo』438 号（特集：学校における市民性教育)、「僕の”シチズンシップ共育”体験」、pp.9-11

4. 08 年度決算のトピックス

■収入の部

(1)講師派遣料収入は大幅増

昨年度に年度次期変更を行ったため、前年度決算との単純な比較はできませんが、NPO マネジメント関連の研修・講座が中心の講師派遣料については、前年比約 200 万円増となっています。1 件あた

りの単価は概ね横ばい傾向ですが、件数が増加したことが背景となっています。09 年度も件数は横ばい傾向を保てると見込まれますが、行政が関係する事業からの依頼単価が低下傾向にあり、講師派遣料収入については横ばいまたは減少が予測されます。依頼内容と謝金額が余りにも不釣り合いな不適切な依頼については、今後積算の見直しを求めていきます。

(2)主催事業収入は概ね横ばい

主催事業については、その事業数は増加したものの、ユース ACT プログラムが実行委員会組織で別会計となっており、その他の主催事業は経済的な事業規模の拡大につながるものが少なく、前年比約 40 万円増に留まりました。昨年度に年度時期変更を行ったことを鑑みれば、横ばい傾向と言えます。今後は講師派遣料収入の低下も予測されることから、今後 3 年間程度のスパンで、新たな自主財源となる事業の確立を目指していきます。

(3)委託事業収入は増加

委託事業収入については、神戸市市民参画推進局からの協働と参画のプラットホームでの業務委託に加えて、神戸市産業振興局からのコミュニティ・ビジネス起業セミナーの業務委託、総合幼児教育研究会からの研修プログラム開発の業務委託が加わり、前年比約 120 万円増となりました。これらの委託事業収入は組織の経済的安定に大きく貢献する収入額ですが、今年度限りの委託事業もあり、09 年度は減少が予測されます。委託料収入に依存することのないよう、留意する必要があります。

なお、昨年度に掲げたと委託料収入を事業収入の 40%以下とする目標については、講師派遣料収入が増えた結果 39.4%となり、達成されました。

■支出の部

今年度の支出においても、(1)給料手当、(2)地代家賃、(3)交通費が三大支出となっています。特に、今年度は下半期より非常勤職員が加わったこともあり、給料手当は増加しました。他に大幅な支出増加としては、活動内容の充実化に向けた情報収集・専門知識の習得を行うため、専門書籍等の購入を積極的に進めたため、新聞図書費が増加しています。また先般の急速な経済危機に伴う社会的弱者への支援や、岩手内陸沖地震の被災者支援のため、複数の NPO 等へ寄付・会費納入を行ったため、諸会費も増加しています。これらの結果、管理費は前年度比約 200 万円増となりました。管理費の増加については、一部項目を除いて次年度以降も継続する傾向と考えられます。09 年度は、収入を増やす努力を怠らず、また、経費の精査・支出削減に努めます。

事業支出としては、前年度比約 100 万円増ですが、講師派遣の増加に伴い交通費が、主催事業の増加に伴い施設使用料支出が増えたことが大きく影響しています。09 年度はこの傾向が今年度よりも高まることが考えられますので、他の項目で支出の大幅増抑制を図ります。

■全体を踏まえて

全体として、当期差益は約 180 万円（前年比 40 万円増）となり、繰越金は約 465 万円となりました。先般の経済危機に伴う、今後の経済環境悪化に備えつつも、繰越金については、NPO として新規の市民公益事業の開拓費用として用いていき、戦略的に社会再投資していきます。

おわりに

2008 年度、当会が関わったプログラムは約 100 件（前年比約 40 件増）となり、参加者延べ総数は約 2200 名（前年比約 700 名増）となりました。今年度は前年度に引き続き、新しい試みも増え、量的発展については加速した年度であったと概括できます。

しかし、主催事業、特に当会のミッションに直結している市民教育事業部の企画については、参加者確保に課題があり、量的発展には事業間で偏りがあることは否めません。09 年度は、他機関との協働・連携を進めながら、市民教育事業においても、拡充に弾みがつくよう、努めてまいります。そうした拡充を通じて、中期的に社会に対して市民教育のニーズを発信し、適切なモデルプログラムを普及していくことを目指します。

財政的には、自主財源率が 60%を辛うじて上回ったものの、委託事業収入が組織の経済的安定を支えている構図は変わらず、まだまだ脆弱な部分を有しています。今後も自主財源率の向上に努め、基礎固めを進めてまいります。

市民社会の担い手を育むという当会に課せられている大きな社会的責任を一層果たし、市民社会の成熟に貢献できるよう、スタッフ一同邁進してまいります。引き続き、関係各位の多大なるご協力とご指導を賜りますよう、お願い申しあげます。

シチズンシップ共育企画

代表　川中大輔